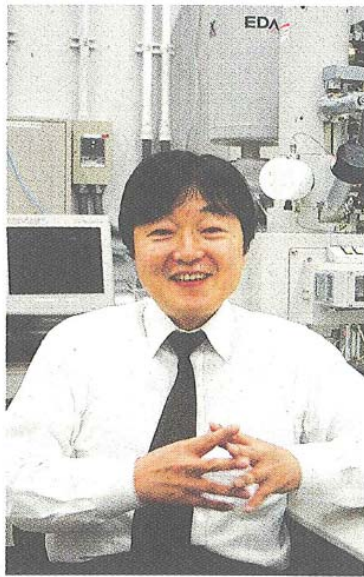




発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

京都大大学院工学研究科
野田 進教授

研究室発



結晶で光を操る技術開発

ナノレベルの世界で、
微小で透明な素材を規則
正しく並べた「フォトニ
ック結晶」を研究する。
結晶内の規則正しい構造
を少しずらすだけで、光
を集めたり、発する光の
強弱や角度を変えたり

と、光を自在に操る技術
を開発し、昨年はナノテ
クノロジーの世界的研究
者に与えられる江崎玲於
奈賞を受けた。

で音が鳴ったり電球が光
ったり。「面白い」と衝
撃を受けた。京大で電気
工学の研究室に入り、分
からないことを一つ一つ
解決する研究の面白さを
知る。

結晶開発にも取り組み、
技術を進化させた。
非常に効率のいい太陽
光発電や、高速で大容量
化した次世代の光通信な
ど、多方面の革新につな
がる画期的な技術として
産業界からも注目を集め
る。

勤務し、高価な当時の最
新装置を使って素材やレ
ーザーを開発したが、京
大に移籍後の助手時代は
予算がなく、工夫して独
自の技術を高めた。約十
年前、三次元フォトニッ
ク結晶の開発に成功。よ
り製作しやすい二次元の

「心を自由にしてい
んなアイデアを試してみ
るのが大事。学生には前
向きに根気よく続ける力
をもってほしい」
のだ・すすむ 京都府出
身。1984年三菱電機中
央研究所研究員、88年京大
助手、10年前から現職。京
大光・電子理工学センタ
ー長も兼務。50歳。